

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっているものの、観光等が低調であることから、全体としては感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、食料品が緩やかに持ち直しつつあるほか、電気機械が緩やかに持ち直しており、汎用・生産用機械は厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	➡
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。	➡
設備投資	2年度は前年度を下回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	➡
企業収益	2年度は減益見込み	3年度は増益見込み	➡
企業の景況感	現状判断は「下降」超	現状判断は「下降」超	➡
住宅建設	前年並みとなっている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている」

スーパーは、衣料品等が弱い動きとなっているものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。コンビニエンスストアは、米飯類等に弱さがみられるものの、冷凍食品やアルコール飲料等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。ドラッグストアは、新規出店効果に加え、マスク等の衛生用品や飲食料品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。家電大型専門店は、テレビや洗濯機等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。ホームセンターは、園芸用品やマスク等の衛生用品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。百貨店は、高額品に動きがみられるものの、衣料品が低調であることから、全体としては低調となっている。乗用車販売は、小型車で前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車で前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。観光は、感染症による外出自粛の影響から、低調となっている。旅行は、国内旅行は低調となっており、海外旅行は不調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 外出機会の減少の影響により、依然として衣料品は厳しいものの、野菜や精肉等の生鮮食品を中心に飲食料品の動きはよい。(スーパー)
- 感染症の影響により、在宅時間が増えていることなどから、動画配信サービスを視聴することができる機能を備えたテレビ等に動きがみられる。(家電大型専門店)
- 外出自粛の影響や、イベント・展示会が中止となっていることなどから、依然として厳しい状況にある。(観光施設)
- 消費者の自粛ムードは非常に高く、時短要請が解除された後も、客足が戻らない。(飲食店)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

食料品は、家庭用の需要が増加していることから、緩やかに持ち直しつつある。電気機械は、電子部品に動きがみられることから、緩やかに持ち直している。汎用・生産用機械は、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。こうしたことから、全体では緩やかに持ち直している。

- 感染症の影響による外出自粛などから、自宅での食事機会が増加しており、小売店向けの動きがよい。(食料品)
- スマートフォン向け電子部品の受注が増加しており、操業度は高くなっている。(電気機械)
- 感染症の影響により減少していた建設工事向けの需要に持ち直しの動きがみられるなど、生産量は増加している。(汎用・生産用機械)

■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。」

有効求人倍率は緩やかに上昇している。新規求人数、新規求職者数ともに前年を上回っている。

- 感染症の長期化等により、感染防止のため求職を自粛していた方についても、ここにきて求職活動を始めたことなどから、新規求職者に増加の兆しがみられる。(労働局)
- 利用者が減少した状況が続いており、雇用調整助成金を引き続き活用している。(運輸)
- 感染症の影響により、業績が悪化していることから、人手が過剰気味となっている。(宿泊)

- **設備投資** 「3年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期
 - 全産業で32.0%の増加見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で48.0%、非製造業で1.1%の増加見込みとなっている。
- **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期
 - 全産業で1.5%の増益見込みとなっている。
 - これを業種別にみると、製造業で1.2%の減益見込み、非製造業で14.7%の増益見込みとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数で見ると、全体としては前年を下回っている。
 - 利用関係別にみると、持家及び分譲で前年を上回っているものの、貸家で前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を上回っている」
 - 前払金保証請負金額(令和3年度6月累計額)で見ると、管内合計は前年度を上回っている。
 - 発注者別にみると、国、独立行政法人等、県及び市町村において前年度を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(3年4月判断)	今回(3年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
徳島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるなど、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるなど、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直しつつある。
愛媛県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
高知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。